

AJA Ki Pro Go - リリースノート v1.0

Firmware for Ki Pro Go

全般

このソフトウェア v1.0 は、AJA Ki Pro Go の初回出荷バージョンです。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。クイックスタートガイド (QSG) 、動作確認済みのメディアリストを含む最新版のドキュメントは、www.aja.com のサポートページでご確認いただけます。

v1.0 での注記

連続収録時間は最大 240 分まで：

- ・ Ki Pro Go ファームウェア v1.0 では、1クリップの連続収録時間は最大 240 分になりそれを超えると収録は停止されます。次の収録を開始する場合は、再度収録ボタンを押す必要があります。240分より長いイベントを収録される場合は、適宜よいタイミングを設定して最初の収録を止めていただき、その後次の収録に移られることをお勧めします。今後のファームウェアアップデート（無料）では、240 分を超える場合は自動的に新しいクリップが生成されるよう改善される予定です。

USB ポート 5 へのバックアップ収録：

- ・ Ki Pro Go ファームウェア v1.0 では、背面の USB ポート 5 での冗長（リダンダント）収録が可能です。推奨収録メディアについては、下記 URL よりリストを参照ください：

<https://www.aja.com/support/item/6509>

Ki Pro Go 収録時の注記：

- ・ Ki Pro Go ファームウェア v1.0 では、8-bit、4:2:0 での H.264 エンコーディングに対応し、エンコーディングレベルは Low/Medium/High から選択可能です。技術仕様詳細については、Ki Pro Go マニュアル 付属書 A (Appendix A) を参照ください。 (<https://www.aja.com/support/item/6515>)
- ・ 今後のファームウェアアップデート（無料）では、ワークフローでの需要に合わせて収録エンコーディングオプションを拡張予定です。

タイムコードへの対応：

- ・ Ki Pro Go ファームウェア v1.0 では、RP-188 タイムコードの入力には対応していません。Ki Pro Go では、収録中や再生中の経過時間が表示されます。
- ・ 今後のファームウェアアップデート（無料）では、RP-188 タイムコードに対応予定です。

ファイル再生時の注記：

- ・ Ki Pro Go でのファイル再生機能は、主に Ki Pro Go 自身で生成したファイルを再生するために開発された機能です。サードパーティー製のソフトウェアやその他の機器で生成された H.264 素材を再生したい場合は、Ki Pro Go マニュアル 付属書 A (Appendix A) の技術仕様を参照ください。(<https://www.aja.com/support/item/6515>)
- ・ サードパーティー製のソフトウェアやその他の機器で生成された H.264 素材を Ki Pro Go で再生したい場合は、事前にお持ちのファイルが再生可能かどうかご確認ください。AJA では、サードパーティー製のソフトウェアやその他の機器で生成された H.264 素材の再生は保証できかねます。

ソフトウェア再インストール時の配慮事項

- ・ v1.0 ファームウェアは初回出荷バージョンですので、再インストールは不要です。今後のファームウェアリリース時に、下記の配慮事項を参照ください。
- ・ ファームウェアアップデートの前に、CONFIG メニューの Factory Reset (工場出荷状態に戻す) を行ってください。
- ・ ファームウェアアップデート完了後は、一時的に Web ブラウザ (Safari、FireFox など) との接続が途切れますので、その場合は Web ブラウザを一度リフレッシュすると Web UI に再接続ができます。
- ・ 収録中にはファームウェアアップデートは行えません。ファームウェアアップデートを行う前に、Ki Pro Go が (収録中や再生中ではなく) 停止状態にしてください。